



沼崎町長から長寿祝い金を手渡され祝福の言葉を受ける福士シワさん（左写真）／山崎フクヨさんに敬寿荘からバースデーケーキが贈られ、ろうそくの火を吹き消し、皆さんから祝福されました



福士さんと山崎さんが100歳に 周囲から温かい祝福受ける

大沢の福士シワさん（明治42年12月7日生まれ）と船越の山崎フクヨさん（同12月15日生まれ）が満100歳の誕生日を迎えました。12月7日、特別養護老人ホーム平安荘（井上義一理事長）で福士さんの100歳を祝う会が開かれました。沼崎喜一町長から福士さんに長寿祝い金を手渡されたほか、平安荘の職員から花束やバースデーケーキが贈られ、皆さんでにぎやかに福士さんの長寿を祝いました。また、16日には矢巾町のグループホーム敬寿荘（山下秀子管理者）で山崎さんの誕生日会が開かれました。山崎さんは91歳まで船越の自宅にいましたが、体調を崩し盛岡市在住の息子さんと同居。6年前に敬寿荘に入所し、現在は施設の皆さんと元気に過ごしています。当日は沼崎町長が同施設を訪れ、山崎さんに長寿祝い金を手渡しました。また、施設の職員からバースデーケーキが贈られ、山崎さんがろうそくの火を吹き消すとご家族や施設の皆さんから温かい拍手が送られました。

「織笠川鮭まつり」に4,000人 サケづくしの一日を満喫

「織笠川鮭まつり」が11月28日、織笠川特設会場で開かれました。前年はサケの不漁により中止になった同まつりですが、今回は1日のみの開催ということもあり、会場はこの日を心待ちにしていた総勢4,000人の観光客らでにぎわいました。名物のサケのつかみ捕りでは、町内外の家族連れなどが参加し、ゴム長靴と軍手姿でお目当てのサケを捕まえていました。参加者は、元気よく泳ぎ回るサケに悪戦苦闘。全身ずぶぬれになりながらも、やっとの思いで捕まえた大物に歓喜の声を上げていました。会場では、スクラマスフィッシングが行われたほか、食堂や物産販売コーナーも大盛況。また、直径1.8mのジャンボ鉄板で作る「サケのちゃんちゃん焼き」が無料で振る舞われるなど、訪れた人たちはサケづくしの一日を心行くまで楽しんでいました。



元気よく泳ぎまわるサケをやっと捕まえて、引き上げたその大物ぶりに驚いていました



ジャンボ鉄板で作るサケのちゃんちゃん焼きの試食コーナーには、長蛇の列ができました



今月の題字
 堀合悠斗くん
 (山田北小3年)

町のわだい

明るい選挙推進し30年 清水誠勝さんに総務大臣感謝状

山田町明るい選挙推進協議会の清水誠勝さん(後楽町・66)に、総務大臣から感謝状が贈られました。昭和55年に山田町明るい選挙推進員となった清水さんは、通算15年間同推進協議会の会長を務め、長年にわたり有権者の政治意識の高揚や明るい選挙の推進に努めてきました。今回の表彰は、選挙制度120年にあたり選挙に対し功績の顕著な方に贈られたものです。清水さんは「たいへん光栄なことです。委員の皆さんに助けられながら今まで務めることができました」と話していました。



新鮮な冬の味覚が食べ放題 かき小屋が今期の営業を開始

12月5日、山田町観光協会(大杉繁雄会長)が運営する「かき小屋」が今シーズンの営業を開始しました。開店初日となるこの日、町水産センターの施設を利用した店舗には町内外から80人が訪れ、山田湾の冬の味覚を満喫しました。かき小屋では山田産殻付きカキの蒸し焼きが45分間食べ放題で提供され、別売りでホタテも焼いて食べることができます。土・日曜、祝日に限定した前回の営業が好評だったことから、今シーズンは焼き台を1卓増やし一度に40人まで利用可能となったほか、1月4日からは平日の受け入れも開始。前日までの予約が必要ですが、5月31日まで毎日営業します。

「ふるさとCM大賞」審査会 本町の作品が特別賞を受賞

12月6日、岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞」の審査会が盛岡市で開催されました。同CM大賞は、県内市町村が地元をPRする30秒のテレビCMで古里自慢を競い合うもので、8回目となる今年は30市町村が参加。本町からは役場総務課が制作した「ほしの王子様」を出展しました。作品は乾椎茸生産部会やわかば幼稚園の皆さんが出演、高品質を誇る山田の干しシイタケをPRしました。結果、本町は審査員特別賞の「おもしろ賞」を受賞、副賞として年間70回本町のCMが放送されることになりました。同審査会の模様は、12月26日に同局で放送されたほか、2月中旬にも再放送される予定です。

